

燃えさかる炎に

一年の息災を祈る

あばれ祭



火の粉を浴びながら、たいまつを乱舞するキリコ



雨上がりの町に笛の音が響く



燃えさかる炎に身を預ける

2基のあばれ神輿には、責任者が2人ずついる。
白山方の責任者を長く務めた川崎孝裕さん（新村浜町）
に話を聞いた。

祭りを動かす

総指揮者

責任者は事故などが起きないように、神輿の運行を律している。若衆は黄色いたすき、責任者は紫色のたすきを身につける。たすきは祭りの前週、祭礼委員会の事務所開きの際に渡されるもので、白山方ではその紫と黄色のタスキを「アメヤ（昭和町の町端長治家）」の神棚に預け、祭り当日を迎える。



神輿の運行は常に危険と隣り合わせ

あばれ祭は勇壮な祭。姿を一目見ようと、遠くから多くの人が訪れる。しかし祭りはイベントではなく、神のために行うもの。川崎さんも若いころは祭を無事に終えるために、火の中、水の中にかかわらず、真剣に御輿を担いだ。手を抜くと罰が当たるような

祈りに込める 家族への思い

あばれ祭は勇壮な祭。姿を一目見ようと、遠くから多くの人が訪れる。しかし祭りはイベントではなく、神のために行うもの。川崎さんも若いころは祭を無事に終えるために、火の中、水の中にかかわらず、真剣に御輿を担いだ。手を抜くと罰が当たるような



入宮のあと、御神酒を味わう2人の責任者

あばれ祭は7月4日、5日の両日行われた。4日の午後には激しく降る雨の中、約40本のキリコが柵木海岸を目指して町内を練り歩いた。夕方近くには雨が上がって、祭りはヒートアップ。役場能都庁舎前に立てられたたいまつを周りを、太鼓やかねの音を響かせながら乱舞した。

5日午後、宇出津の町は好天に恵まれ、キリコ太鼓と笛の音、担ぎ手の掛け声が街中

に響き渡った。

午後9時、酒垂方のあばれ神輿が八坂神社を目指して御旅所から駆けだした。白山方の神輿は午後10時に万崎を出発した。

神輿は各町内の所々で暴れ、約1時間半後に梶川に到着。多くの人が見守る中、神輿は川に投げ込まれ、護岸やブロックにぶつけられるなどさらに荒々しく扱われる。さらに梶川上流のカンノジ

や笛の音しか届かない。入り宮の時の感覚は忘れられないという。自然と涙が出てきた年もあったと、川崎さんは振り返る。

次代に伝えられる 責任者の重責

川崎さんは責任者について「祭りを創っている役割」だと考える。祭りを経験してきた年長者の様子を見て状況を判断し、宮に入れるタイミングを決めていたという。

「宇出津のキリコ祭り」として文化財に指定されるなど、祭りは時代とともに変わってきた。今後、若い人に

応じたやり方に変化するかもしれない。しかしどのように変化しようと、責任者に状況判断とリーダーシップが求められるのは変わらない。

川崎さんは責任者を離れ、自分の息子が神輿を担ぐようになった今も、祭りの雰囲気は味わい続けたいと考えている。神輿の近くにいれば、危険なときに若衆を助けることもできる。その姿は、自分が若いときに見てきた年長者の姿と重なる。

祭りによってもたらされた人と人のつながりが、能登に「里山里海」の営みを残したのだと、川崎さんの話を聞くうちに確信した。

たいまつに挑む若衆を見守る川崎さん

今、羽ばたく 能登の輝ける夢

小浦さんがパラオに興味を持ったのは航空学園高等学校在学中の道徳の授業がきっかけです。同校では専門知識だけではなく、自分の国に誇りが持てるよう、日本について学ぶカリキュラムがあります。

小浦さんがパラオに就くにあたっては、航空学園高等学校在学中の道徳の授業がきっかけです。同校では専門知識だけではなく、自分の国に誇りが持てるよう、日本について学ぶカリキュラムがあります。

小浦さんは6月、NPO法人南洋交流協会が主催する「ミスパラオ・プリンセス・オブ・スカイ」に選ばれました。南洋交流協会ではパラオ共和国と日本の親善大使として毎年3人のミスパラオを選出しています。独立から20年の今年は、空の親善大使「プリンセス・オブ・スカイ」が設けられ、小浦さんら2人がその任に就きます。パラオは太平洋・ミクロネシアの国です。歴史的な経緯から日本とのつながりが深く、日本語に近い名前の住民も多くいます。小浦さんは10月1日に開催されるパラオ独立20周年記念式典に参加して大統領に会う予定です。「石川県で初めて選ばれ、光栄でうれしく思います。立派に役割を果たしたいです」と話しました。

小浦さんは6月、NPO法人南洋交流協会が主催する「ミスパラオ・プリンセス・オブ・スカイ」に選ばれました。南洋交流協会ではパラオ共和国と日本の親善大使として毎年3人のミスパラオを選出しています。独立から20年の今年は、空の親善大使「プリンセス・オブ・スカイ」が設けられ、小浦さんら2人がその任に就きます。パラオは太平洋・ミクロネシアの国です。歴史的な経緯から日本とのつながりが深く、日本語に近い名前の住民も多くいます。小浦さんは10月1日に開催されるパラオ独立20周年記念式典に参加して大統領に会う予定です。「石川県で初めて選ばれ、光栄でうれしく思います。立派に役割を果たしたいです」と話しました。



夢実現の次のステージへ

今、羽ばたく 能登の輝ける夢

能登空港の隣接地に日本航空学園高等学校石川、日本航空学園高等学校がります。能登空港と共に開校し、10年目を迎えました。能登町から能登空港はわずか20分ほどで、町からも学生が通っています。充実した施設と、空港の近くという立地を生かし、数多くの学生が航空業界に就職しています。

企業への内定を決めるなど、活躍を見せる学生たちに学校で学んだことや今後の夢について尋ねました。



実習を行うYS-11の客室に立つ小浦郁恵さん

体の不自由な人にも

旅を楽しんでもらいたい

野村優さん（藤波）

日本航空大学航空ビジネス科2年

野村さんは㈱JALスカイ成田への就職が内定していて、成田空港で地上業務にあたる予定です。学校では語学や面接の勉強をしました。「受験では学校で学んだことが役に立ちました」と授業について振り返りました。元日本航空の客室乗務員で、航空ビジネス科の宮田雅美学科長から接遇について指導を受けました。先輩が夢を実現していく姿を見て、職業への憧れを強くしたそうです。

「体の不自由な方にも楽しんでいた

海外の人に日本の良さを知ってほしい

小坂ひかるさん（小浦）

日本航空大学航空ビジネス科2年

小坂さんは小さい頃から英語が好きだったそうです。両親に能登空港に連れてきてもらって、航空業界に強くあこがれるようになりました。㈱FMGエアサービスからの内定を受け、夢に向けて一歩を踏み出しました。今後は成田空港で活躍する予定です。

「外国から来たお客さまに日本の良さを知っていただきたい」「多くのお客さまからたくさんのお話を学び、立派なグラウンドスタッフになりたい」と思っています。夢はますます広がります。「成田空港にお越しの際はぜひ声をかけてください」と笑顔で話しました。



能登から通学できる
魅力的な専門高等学校

日本航空高等学校航空工学科4年

谷内 萌さん（宇出津）



谷内さんは日本航空大学校で主に3D設計を学んでいて、YKK株式会社への就職が内定しています。

大学の環境については「宇出津から車で20分ほどで来ることが出来る近さであるうえ、能登空港と隣接していて実際の飛行機を見ることが出来るので、とても良い環境です」と満足しています。「航空関係に興味がある人はぜひこちらで学んでください」と谷内さんは後輩に向けてエールを贈りました。

先生や友人の協力に感謝
早く一人前の整備士に

日本航空専門学校航空整備科3年

和田 収さん（小木）



今後も生まれ育ったを町を
盛り上げたい

日本航空専門学校航空整備技術科2年

皆月 諒さん（藤波）



和田さんは高校の時から日本航空学園に通っています。国産初の航空機YS-11が3機あることで、教室で授業を受けるだけではなく、実際に機械に触れて詳しく学ぶことが出来るのが魅力だそうです。

JALエンジニアリング株式会社から内定を受けました。「先生や友人の協力があり本当に感謝しています」と振り返りました。

「東京に行くことになりましたが、早く一人前の整備士になれるよう勉強にはげんでいきたい」と意気込みを述べました。

皆月さんは金沢市の澁谷工業株式会社への就職が内定しました。高校のときから日本航空学園に通っていて、甲子園に出場するなど、強豪として知られる日本航空学園石川の野球部で活躍していました。

機械に興味を持ち、高校卒業後は日本航空専門学校に進学しました。

「職場は金沢市になりますが、祭りの時などに帰ってきて町を盛り上げて行きたい」と生まれ育った町への思いを話しました。

行政改革

第2次行政改革大綱 4年目の実績

町では平成22年3月に第2次行政改革大綱および実施計画を策定し、さまざまな改革を進めています。平成25年度に取り組んだ行政改革の実績と平成26年度の計画は次のとおりです。

平成25年度の行革効果額は、
4億6628万円

行政改革の取組状況を明確にするため、実施計画においては数値目標を設定し、平成21年度を基準とした効果額を毎年度算定します。平成25年度は、計画額3億13万円に

対して4億6628万円（達成率155.4%）でした。

目標の達成状況

区分	目標額 ①	効果額 ②	達成率 (②/①×100)
H25年度	3億13万円	4億6,628万円	155.40%
累計 (H22～H25)	7億7,667万円	11億9,302万円	153.60%

平成26年度の取り組み

平成26年度は、第2次能登町行政改革大綱の最終年度となることから、継続中のプログラムが着実に達成できるよう、さらにスピード感を持って取り組みを進めます。

特に、能登町行政評価委員会において、意見のあった項目について重点的に取り組むこととし、引き続き効率的な行政運営が図れるよう検討・改善力を入れます。

☎総務課 ☎（62）8510

平成25年度の主な取り組み

組織・機構の合理化

組織・機構の見直し

- ・鵜川中学校と能都中学校を統合
- ・地域医療連携システムの導入により、医療連携の強化、円滑な診療の提供を実施

職員の意識改革の徹底

- ・職員提案の募集、採用

公共施設の適正管理と運営等の効率化

第三セクターの見直し

- ・（株）能登町ふれあい公社の持株の一部を社員へ譲渡

町税等の収入の確保と負担の適正化

- ・消費税転嫁による使用料改正を決定
- ・公有財産の積極的な売払いによる収入の確保

平成26年度の取り組み項目

小・中学校の統廃合

- ・路線バス「うちうら線」に小中学生を乗せることができないか、運行時刻及びコースなどをバス会社と協議し検討する。
- ・路線ごとに利用人数調査を行い、その調査結果から必要に応じ、学校及びPTAと連携し、北鉄奥能登バス(株)にダイヤ変更の要望を実施する。
- ・鵜川地区からは、具体的な要望を受けているため、その要望に対し関係各課との調整を行う。

病院経営の健全化

- ・病院改革プランに基づき経営の健全化を継続的に推進する。また、接客に関する要望があるため、接客研修を行い、職員のさらなるスキルアップを行う。
- ・受付窓口に、「名前を呼ばれてほしくない方は、お申し出ください」という趣旨の表示を行う。

定員管理の適正化

- ・選択研修の中から必要と思われる研修を指定研修の中に取り入れ、職員の資質向上を行う。
- ・昇格時に適性試験等を実施
- ・昇格対象者に実施しているレポートの提出の際に、特別職との面談を追加実施する。
- ・自己申告書に地域行事やボランティアの参加状況についての記載欄を設け人事評価に反映させる。

職員の意識改革と資質の向上

- ・職員の意識改革を促し職員提案の件数が増えるよう工夫し、人事評価のできる体制を検討する。また、取組み状況については、町ホームページ上でも公開する。

使用料・手数料等の見直し

- ・使用料、手数料調査を基に料金見直しを検討する。

遊休財産の売却

- ・各課所有の遊休財産を調査しリストの作成を行い、売却可能なものは積極的に売却を進める。

星の観察館「満天星」は みんなの楽しい夏休みを応援します

満天星で工作 ★ 天体望遠鏡をつくってみよう！

月のクレーターまでくっきり見える望遠鏡を作ってみましょう。完成後はその望遠鏡で月と土星を観察します。雨天の場合は工作のみ行います。
 〈日時〉8月9日㊥ 16:00～20:00 ※18:00～19:00は休憩です。食事などをご用意ください。
 〈参加費〉1セット 1,700円
 〈定員〉10組・電話にて要予約

満天星で自由研究 ★ ペルセウス座流星群観望会

夏の星空の風物詩「ペルセウス座流星群」。シートに寝転がって流れ星を待ちましょう。今年は月明かりがありますが、1時間に多くて15個くらい流れ星が観察できると予想されています。
 〈日時〉8月12日㊤ 21:30～23:00
 ※雨天曇天の場合は中止
 〈参加費〉無料 〈予約〉不要
 シートのスペースに限りがあります。レジャーシートなどをお持ちの場合は、持参してください。

満天星で学ぼう★ 満天星プラネタリウムフェスタ

40分おきにいろいろなプラネタリウム番組を投影します。普段500円のプラネタリウム入場料がこの日だけ1回100円です。ぜひお越しください。
 〈日時〉8月23日㊥ 10:00～16:00
 〈参加費〉プラネタリウム1回100円、幼児無料
 〈定員〉各回100人

宇宙の人気者
まんてん仮面



★満天星スターパーティー

恒例のスターパーティー。「うそっぷ」の野外コンサートやビンゴ大会、プラネタリウム特別投影、天体観望会が全て無料。満天星を遊びつくしましょう。詳しくは有線テレビか満天星のホームページをご覧ください。

〈日時〉8月2日㊥ 18:00
 〈場所〉星の観察館「満天星」

★大人のためのトワイライトプラネタリウム

毎月第4日曜日午後4時から少し大人向けのプラネタリウム。宇佐美学芸員が星と宇宙の話をします。8月のテーマは「太陽系外の惑星」です。
 〈日時〉8月24日㊤ 16:00～16:50
 〈参加費〉大人500円 小中学生300円 幼児無料
 〈定員〉100人（予約不要）
 大人向けですが、小中学生の参加也大歓迎

のと里山空港 8月のイベント



■ 3日㊤おらが故郷お国自慢

〈時間〉15:15 〈場所〉のと里山空港2階ロビー
 〈出演〉フォークデュオ「うそっぷ」(能登町)

■ 10日㊤のっぴーグラスづくり

「のっぴー海水浴」
 〈時間〉10:00～12:00、13:00～15:00
 〈場所〉空港1階 能登の旅情報センター
 〈対象者〉一家族1個。
 小学生以下優先、限定50個、参加無料



ターミナルビルの看板も
愛称の「のと里山空港」に変更されました

■ 17日㊤おらが故郷お国自慢

〈時間〉15:15 〈場所〉のと里山空港2階ロビー
 〈出演〉輪島キリコ太鼓「絆」(輪島市)



〈会場〉能都中学校第二体育館
 〈入場料〉無料
 〈主催〉関西京都今村組
 「折り鶴ライブ」実行委員会

〈日時〉8月10日㊤
 午後6時30分開演

「折り鶴」LIVE

関西
京都
今村組
4年ぶりに来町

平成22年役場能都庁舎前での感動のライブから4年。皆さんのの熱意で3度目のライブが実現しました。「共育者」今村克彦先生による情熱あふれるステージを、ぜひその目でご覧ください。

五感まるごと能登づくし
 〈日時〉8月23日㊤
 午前11時～午後9時
 〈場所〉柳田植物公園
 〈内容〉(予定)
 ・広場に並ぶ姿は壮観。地区自慢のキリコ

・野外ステージでの伝統芸能、歌謡ショー
 ・能登の食材をたっぷり堪能、五感まるごと市。テナント多数出店
 ・晩夏の夜空を彩る感動の花火
 問い合わせ実行委員会事務局
 (柳田植物公園内)
 ☎(76) 1680



観客の真上に打ち上がる花火は圧巻

晩夏のひととき、ご家族みんなでごゆつくりお過ごしください！

くきりこと灯りの祭典く

くきりこ祭り



ステージ・テナントなど
催し盛りだくさん！

あなたも参加できます

8月30日(土)はラケット持参で!

★チャリティーダブルストーナメント

時間: 9:30 ~
種目: 男子ダブルス、女子ダブルス
定員: 各 16 組 参加費: 1 組 4,000 円
申込方法: 先着順。8 月 23 日までに JPTA 事務局へ

★ Let's Enjoy Tennis

選手と一緒に楽しもう! プロテニス選手とコーチが指導してくれます。選手&コーチは当日発表。
時間: ① 13:00 ~ 13:30 ② 14:30 ~ 15:00
参加費: 1 回 500 円
※ダブルストーナメント参加者は無料
申込方法: 当日受付

このほかにもイベント盛りだくさん。ホームページでご確認ください。

能登国際 2014

検索

大会に寄せて



実行委員長
日本プロテニス協会理事長

佐藤直子さん

能登国際女子オープンテニス 2014 は、今年で第 8 回目の大会となります。世界的にもこの "Noto International Women's Open Tennis" は 25,000 ドル大会の一つとして認知されてきています。

能登国際は、観戦のみならず、テニスも楽しんで頂きたいという思いから、優れたプロコーチによる各種レッスン会、おなじみになった「やってみんかいね」、新しいゲームアトラクション「ターゲットナイン」なども用意しています。優勝選手とラリーや写真が撮れるイベント、大抽選会など、実行委員やスタッフとともに知恵を絞って、いかに楽しく観戦、参加していただけるかを毎年考えています。それでは、藤波運動公園テニスコートでお待ちしています!

JPTA 国際テニス連盟(ITF)公認 賞金総額\$25,000女子サーキット

能登国際 女子オープンテニス

'14

藤波運動公園
能都健民テニスコート

8 SUN.
31

9 SUN.
7

能登で繰り広げられる熱い戦い。ぜひその目で確かめてください。

プレゼント

下の引換券を持参して来場された人、毎日先着 30 人に限り、すてきな景品をプレゼントします。

マナー

- ①好プレーには、惜しめない拍手喝采をお願いします。
- ②ミスに対する拍手喝采はマナー違反。
- ③ダブルフォルトには、「暖かい沈黙」がベストマナー。
- ④奇数ゲーム終了時(チェンジコート)に出入りできます。
- ⑤カメラのストロボと動画撮影は禁止です。
- ⑥試合中コート周りをうろうろしたり、雑談は避けましょう。
- ⑦携帯電話はマナーモードに設定してください。

ルール

テニスは 4 ポイントの先取で 1 ゲームを獲得し、6 ゲームを先取すると 1 セット獲得します。女子の場合は 3 セットマッチで行われます。

ポイントは、0 (ラブ)、15 (フィフティーン)、30 (サーティ)、40 (フォーティ)と数え、3 ポイントの同点の場合はデュースとなり、そこから 2 ポイント連続取得した方がゲームを獲得します。

1 対 1 で対戦する「シングルス」と 2 対 2 で対戦する「ダブルス」では、コートの広さが違います。ダブルスの場合、両サイドは一番外のラインですが、シングルスはそれよりも 1.37m 内側のラインです。

大会スケジュール

日程	試合開始 予定時間	予定試合
8 月 31 日(土)	9:30 ~	シングルス予選1回戦・2回戦
9 月 1 日(月)	9:30 ~	シングルス予選決勝 ダブルス予選決勝
2 日(火)	9:30 ~	シングルス本戦 1 回戦 ダブルス本戦 1 回戦
3 日(水)	10:00 ~	シングルス本戦 1 回戦 ダブルス本戦 1 回戦
4 日(木)	10:00 ~	シングルス 2 回戦 ダブルス準々決勝
5 日(金)	10:00 ~	シングルス準々決勝 ダブルス準決勝
6 日(土)	11:00 ~	シングルス準決勝 ダブルス決勝
7 日(日)	11:00 ~	シングルス決勝

※観戦は無料です。
※試合開始時間や試合は変更になる場合があります。
※1 試合の試合時間は早い場合で約 1 時間、接戦の場合は 3 時間近くかかる場合もあります。

能登国際 2014
来場者プレゼント
引換券

昨年のシングルスを制したドロテヤ・エリッチ選手(セルビア)

能登回顧写真展

帰省客らが懐かしい能登の風景楽しむ



会場で懐かしい風景に目を細める長男ダニエルさん、長女ヨヴァー
ンさん、次女ナオミさん（手前右から順に）
＝7月3日

マン氏がデジタル化して昨年、町に寄贈しました。劣化したフィルムが多く、現在もフィルムの整理をしているそうです。

今回の写真展では提供された1、350点のうち270点を展示しました。あばれ祭りで帰省した人も多く、写真展が開催された2週間の来場者は約2、600人を数え、大盛況でした。

写真1、350点はすべて

中央図書館で閲覧できます

町に寄贈された全ての写真を中央図書館で見ることができます。ほしい写真がある場合は、実費相当額の負担でプリントすることもできます。写真は2Lサイズの大きさをプリントされ、全部で10冊に分けられています。内訳は次のとおり。

モノクロ写真：7冊・727点

内容・テーマ

子供たち 風俗習慣 布教活動
家族 漁業・農業・林業



自然・生活 男たち・女たち

カラー写真：2冊・355点

カラースライド写真

：1冊・268点

ベックマン3兄妹

能登で会ったのは50年ぶり

デビット・ベックマンさんの子どもたちも、親族7人で能登を訪れました。昨年の写真寄贈の申し出以来、あばれ祭の時期に写真展を開催することを希望していて、子どもたちとともに7月3日から4日間滞在しました。

写真展会場を訪れたほか、祭りで帰省していた同級生と旧交を深めたり、子どもたちもあばれ祭を体験したりするなど、一家は思い出あふれる、貴重なひとときを過ごしました。



○昔を思い、白黒の写真が「ほっと」心あたりました。ありがとうございます。

○私はダニエルさんと机を並べた同級生です。懐かしさでいっぱいです。昔の皆さんは一生懸命頑張っていたのだとつくづく思いました。

○50年前の子供時代を思い出し、とても懐かしかったです。今にはない笑顔。生活、暮らしぶり、心の豊かさ、素朴さ、たくましさ。感激しました。元氣もらいました。

2年間の感謝の思い込めて

外国語指導助手として能登町の小中学生に生きた英語を教えたバーントン・サミュエル・ラスマスさんが、2年間の任期を終えました。7月15日、持木町長から退任辞令が手渡されました。

サム先生は「たくさんの経験を持てたことをうれしく思います」と日本語であいさつしました。今後は9月まで郷里のアメリカ・ミネソタ州で過ごし、再び来日し横浜で日本語を学ぶそうです。サム先生は「絶対に能登町に遊びに来ます」と再会を誓いました。



持木町長から退任辞令を受ける
バーントン・サミュエル・ラスマスさん（左）

ありがとう、サム先生

A L Tのバーントン・サミュエル・ラスマスさんが
2年間の任期を終える

サム先生の英語の授業は楽しかったです

7月17日は柳田中学校での最後の授業が行われ、生徒とサム先生はゲーム感覚で日本とアメリカの文化をお互いに学ぶなど楽しく勉強しました。

全校生徒とのお別れ式でサム先生は「楽しい思い出ができました」と2年間の思い出などを流暢に日本語で話し、生徒代表の首田千尋さんと石田夏那さんが「サム先生の英語の授業はいつも楽しかったです。私たちは英語が大好きです」と英語で挨拶しました。



笑顔で柳田中学校3年生との
最後の授業に臨むサム先生

保育士の先生からは「お互いに協力し合って、おしゃべりもせず素早く避難できました」と褒められました。園児たちはそれぞれ感想を話し合うなど、真剣に訓練を振り返っていました。



机の下で身を潜める園児

シェイクアウトいしかわ 町内各地でも訓練を実施

災害時の初動対応を確認する訓練「シェイクアウトいしかわ」が7月15日午前11時に実施されました。県全体の参加者は16万8千人でした。

能登町では訓練時刻に各家庭の告知端末と屋外スピーカーで訓練開始が知らされ、学校や保育所、事業所などで参加者が一分間の安全行動をとりました。

しらさぎ保育所では、ただちに園内の放送で地震発生が告げられました。放送を聞き、教室で遊んでいた園児らが一斉に机の下に身を隠しました。4歳児・たんぽぽ組の園児11人は時折「狭い」と声を上げながらも、ほかの園児と一緒に身を潜めて過ごすことができました。

会場を訪れた人の感想

写真展会場で、多くの町民や帰省客から喜びの声をいただきました。

○写真展開催してくださりありがとうございます。懐かしい風景やお顔に会えて、タイムスリップしたようでした。祭りに来れない人たちにも見せたいです。

○懐かしく、なにか心が洗われるような気がしました。子供たち、大人たち、人がたくさんいることの素晴らしい。貧しくても心の豊かさの大事さを訴えているようでした。ありがとうございました。

○私はダニエルさんと机を並べた同級生です。懐かしさでいっぱいです。昔の皆さんは一生懸命頑張っていたのだとつくづく思いました。

○50年前の子供時代を思い出し、とても懐かしかったです。今にはない笑顔。生活、暮らしぶり、心の豊かさ、素朴さ、たくましさ。感激しました。元氣もらいました。

○昔を思い、白黒の写真が「ほっと」心あたりました。ありがとうございます。